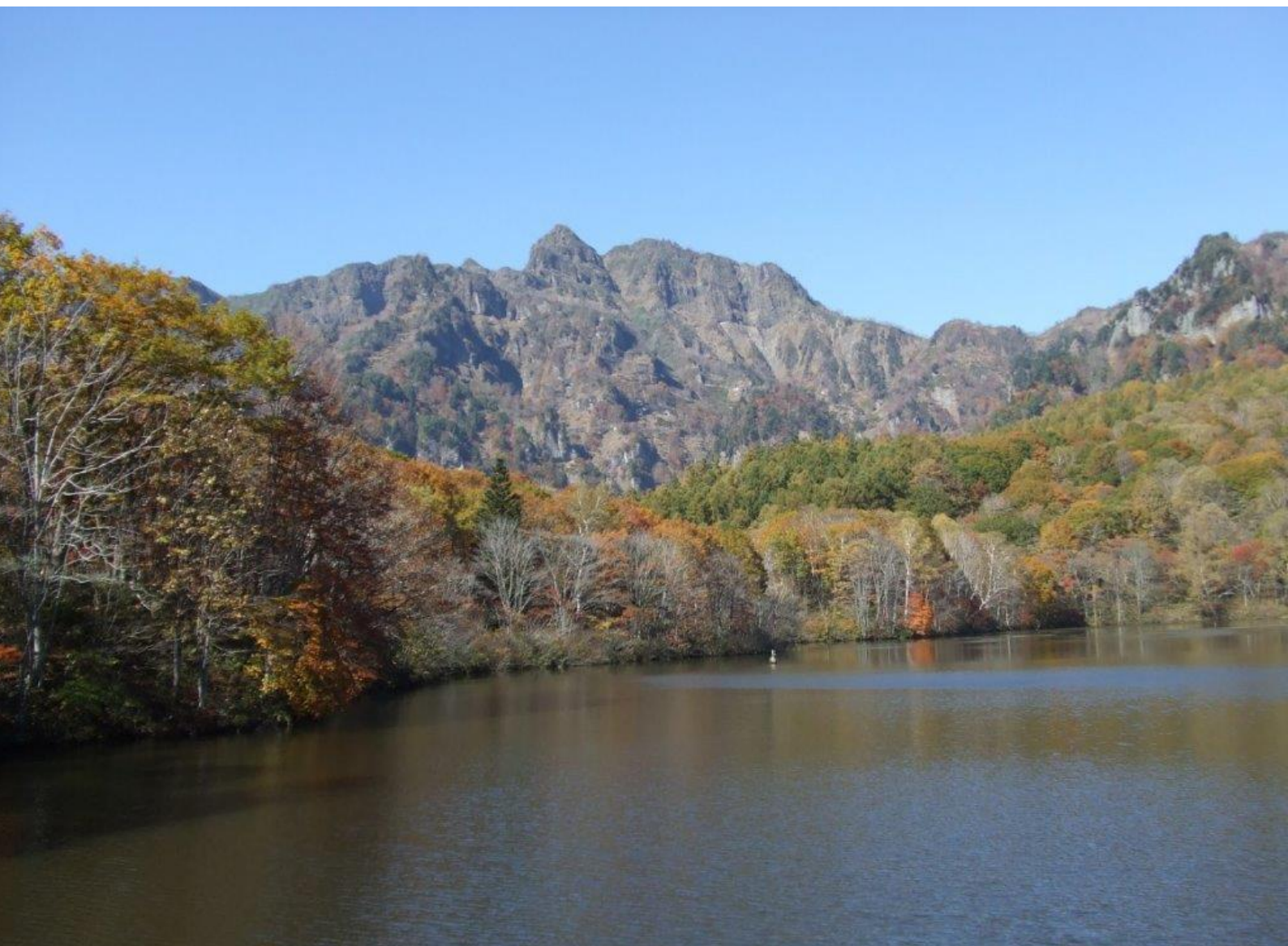


2016.9.26

支 部 通 信

No 70



長野県電気工事業工業組合
長野県電気工事協力会
長 野 支 部

目 次

				ページ
1	Top Message	支 部 長	大田 敬壹	----- 1
2	ご 挨拶	中 部 電 力 (株) 篠ノ井(営)所長	小平 広志	----- 3
3	地 区 だ よ り	更 埴 地 区 長	宮崎 正明	----- 4
		中 野 地 区 長	玉木 新二	----- 6
		長 水 地 区 長	伊藤 善宣	----- 7
		須 高 地 区 長	竹前 廣克	----- 8
		飯 山 副 地 区 長	小 林 忠	----- 9
4	フ リ ー ト ー ク	須 高 地 区	清 水 本	----- 10
		長 水 地 区	日 極 量 博	----- 11
		飯 山 地 区	高 津 和 忠	----- 12
		更 埴 地 区	降 旗 照 子	----- 13
		中 野 地 区	西 山 弘	----- 15
5	電 工 組 青 年 部 会 長 野 支 部	副 支 部 長	恩 田 誠	----- 16
6	電 気 工 事 技 能 競 技 全 国 大 会	お 知 ら せ		----- 17
7	中 部 電 力 株 式 会 社 異 動 報 告			----- 18
8	編 集 後 記	総 務 委 員	久 保 田 雅 史	----- 19

(敬称略)

♪ 表紙写真 ♪

「戸隠連峰と鏡池」

戸隠連峰のシルエットを美しく映す鏡池。

その名の通り、鏡のように澄んだ美しい池は四季折々の戸隠連峰の山々を湖面に映し出し、神秘的な雰囲気醸し出しています。

写真撮影：長水地区 竹内重雄



夏の星座

～ 北十字星（ノーザンクロス）～



支部長 大田 敬 壹

平素は長野県電気工事業工業組合並びに長野県電気工事協会の長野支部そして長野電気引込工事センターに温かいご理解とご指導を賜り、心から御礼を申し上げます。

さて、今夏は、なんといってもメダルラッシュに沸いたりオデジャネイロオリンピックで一色に染まりました。時差の関係で朝からテレビを見ては、ハラハラドキドキ、時に感動しながら、「こんな状態で毎朝、テレビを見ていたら、体に良くないよな」と思いつつも過ごした暑い夏でした。

そして今年は、干支が「丙申」（ひのえざる）です。「丙申の年は、それまでと違った形ができる年」といわれます。そのせいか4月には電力自由化、5月には熊本大震災、7月の参議院選挙の結果、改憲勢力が与野党を含め2/3を超えました。それは日本の将来を大きく変える可能性がある出来事でした。また海外でも6月に英国のEU離脱、7月にはトルコでクーデター、11月にはアメリカの大統領選挙もあります。世界的にも「あの年に、時代が変わった」と思うのかもしれませんが。

長野支部においても5月の総会で、協力会長野支部の収斂と資産等の扱いや長野電気引込工事センターの活動に対する議案の決議を頂きました。これにより長野支部と長野電気引込工事センターの新たな道を示す年になります。ただ、その具体的な活動を検討する中で、再検討しなければならない事案が生じてしまい、計画の見直しも含め、早急に方向性を出さなければなりません。

その上、県協力会においては、引込工事で規格外ボルトの使用による事故が発生して、1年の瑕疵担保から3500か所ほどのボルト交換をしなければならず、その費用から考えても、各電気引込工事センターにとっては死活問題であり、大きな試練の年となってしまいました。幸いにも長野電気引込工事センターでは、ほとんど正規のボルトが使われていたため、大きな問題にはなりませんでしたが、皆さんも中部電力様より毎年送られてくる「委託工事自由購買品製造者一覧表」の内容には特に注意して下さい。

また、今年の1月から始まった電力メーターのスイッチング工事は、各地区長さんにご苦勞を頂き、3月までに何とか乗り切れたと思っていました。それが7月を挟んで、その申し込みが急増し、大手携帯電話会社の各地区局のメーターを全てスイッチングするという申し込みもあり、センターの施工能力からも大変に憂慮する状況です。各地区長さん、会員の皆様には、できるだけご協力をお願い致します。

さらに、11月に開かれる全日電工連主催の第2回電気工事技能競技全国大会では、長野支部から選手を出すことになり、降って湧いた話だったこともあり、支部

役員さん、長水地区役員さん、また青年部の皆さんには、大変ご苦労とご迷惑をお掛けしました。最終的に長水地区の伊東電機商会さんから選手を出していただけることになり、大会に向けて準備が少しずつ始まっています。初雪の便りが里に届くころ、その活躍ぶりがご報告できると思います。

ところで余談になりますが、今年は、「リオデジャネイロオリンピック」のメダルラッシュや熊本大震災での「熊本城（飯田丸五階櫓）」の「奇跡の一本石垣」など、心に残る話題が多くありました。皆さんは毎日見上げる空にも「**天上の奇跡**」といわれるものがあることをご存知ですか。それは皆さんもよく知っている夏の星座「白鳥座」にあります。夏の夜空を見上げると、直ぐに見つかる「十文字」を描いたあの星座です。そのため白鳥座を「北十字星」とも呼びますが、この星座の両側には「七夕」で有名な「織姫星」と「彦星」もあります。実は白鳥座は、夏の星座といわれますが、北極星の近くにあるため、1年を通して長い間、見ることができる星座なのです。そして冬の12月25日（クリスマスの前後）の宵、西北西の大地に、その白鳥座が頭を下にして傾いていきます。そして、それはあたかも「**キリストの十字架**」が、大地の上に神々しく立っているように見えるのだそうです。それが「天上の奇跡」といわれる由縁です。今夏のリオデジャネイロオリンピックは沢山の感動を残してくれましたが、そのリオデジャネイロの象徴である「**コルコバードの丘に立つキリスト像**」が、漆黒の空に映し出される壮大な姿を見て、そんなことを思い出しました。



5月17日 長野支部定時総会 懇親会にて

定時総会議長
株式会社旭電気商会
千野貴文氏





ご挨拶

中部電力株式会社
篠ノ井営業所長 小平 広志

新秋の候 会員のみなさまには、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は弊社事業に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、弊社は5月で創立65周年を迎えることができました。長年にわたり弊社へのご理解・ご支援をくださいましたみなさまへ、あらためて心から感謝申し上げます。これまでに、さまざまな環境変化がありました。とりわけ、5年前の東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故と、この事故を契機に進められた電力システム改革は、とても大きな変化をもたらしました。今年4月からは電力小売り全面自由化が始まりましたし、今後はガスの小売り全面自由化や送配電部門の法的分離が待ち受けています。まさに「第二の創業期」と言われるこのタイミングに、弊社では、法的分離後を見据えた「社内カンパニー制」を導入し、新たに「発電」「電力ネットワーク」「販売」の3カンパニーが発足しました。

こうした事業環境の変化に対応するため、みなさまには「インターネット受付」「計器宅配」の利用をお願いしてまいりました。導入当初はトラブルや使い難い点も多く、大変なご迷惑をお掛けしましたが、みなさまから改善意見をいただき、また多大なご協力を賜りましたおかげで、現在の利用率は全社大でトップクラスとなり、経営効率化に寄与する結果となっております。さらに利便性の高いシステムにするため、お気づきの点がございましたら、何なりとご意見を賜りたく存じます。

ところで、自由化に伴う切り替え（スイッチング）状況につきましては、7月末時点で、全国の一般家庭のうち約2.4%（147万件）が切り替えています。自由化前に経済産業省が行った調査によると、8割の人が電力会社切り替えの意向を持っていると見られていましたが、現時点ではそれほど増えていない状況です。その理由について、某調査機関によると、切り替えをしない人の8割以上が、料金プランを調べるのが大変だったり、調べてもよくわからないと回答しており、実際にスイッチングした人の6割は、電気料金の安さが決め手になったと回答しているそうです。一般家庭の自由化は、まだ始まったばかりです。お客さまが判断できる環境を整えば、増える可能性は十分にあると言えますので、引き続き計器取り替えのご協力をお願いします。

最後になりますが、安全と健康に十分ご留意いただきますようお願い申し上げますとともに、みなさまの益々のご繁栄を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



更埴地区

さんじょさん 三十三燈籠雨乞い祭り

更埴地区長 宮崎 正明

更埴地区技能確認訓練



にて実施することになりました。当地区では3月から新しく出たスマートメーターの取付訓練を済ませました。5月の技能訓練には中部電力篠ノ井と長野配電課、引込工事中村センター長にご協力を頂きありがとうございました。今回の訓練で指導を受けた事と習った事を身につけて安全作業をお願いします。

8月は電気使用安全月間事業で高齢者住宅配線診断を7月28日に計画しました。初めての取り組みなので副地区長と相談をして、6月に



篠ノ井支所の福祉課に地区の区長様含め3名で相談に出掛け、支所窓口の担当者に電気工事工組協力会名の電気使用安全月間の実施に伴う協力の依頼文を渡して見てもらいましたが、本所からも個人情報に関わってくることなので紹介することは出来ないとの返答でした。そこで、地元の区長様と地区民生委員様に声をかけてもらい6世帯の高齢者住宅配線診断を実施することになりました。

7月28日の高齢者住宅と長谷寺配線診断には中部電力担当者2名と会員、役員が中部電力篠ノ井営業所に集合し打合せ、人員割りをして2班に分かれて出発しました。各住宅の配線診断では不良個所の点検、取替、絶縁測定の実施をしたところ、大変喜んで頂き「普段はどこへお願いをして良いかわからずにいた。」との事でした。

『長野市選択無形民俗文化財』

勇壮な夏祭り。塩崎の地に約300年も受け継がれている三十三(サツヨサ)は当初は純粹素朴な雨乞い祈願であったと思われます。

江戸時代、村人が^{かんぼつ}旱魃で苦しんだ時、信濃三十三番札所の一つ(十八番)長谷寺の観音さんに雨乞い祈願したためであるとか、雨乞い祈願に村人各戸1つずつ燈籠を献じたが、その時の村(山崎)の戸数がちょうど三十三戸であったと言われています。

「三十三」の出発は山崎地区八幡神社より長谷寺観音堂広場まで約2.6kmの距離を、二つの火縄を先頭に子供衆の掛け声と中学3年生～50歳男性約60人による短冊と燈籠を付けた柱が大観衆の中を一気に駆け抜けます。観音堂前に到着すると大勢の観衆の中で燈籠に火を灯し柱が建てられます。

その後、午後10時10分に打ち倒し、一気に260段の石段を駆け下りて地元山崎地区に収められます。



中野地区

配線診断報告

中野地区長 玉木 新二

中野地区の事業報告ですが、4月に定時総会を開き今年度事業計画と予算の承認をいただきました。5月は研修旅行を行い会員皆様の親睦ができ、良い研修旅行になりました。6月には技能確認訓練と保護具・防具の耐圧試験及び測定類校正試験を実施しました。安全パトロールは実施できませんでした。



また、8月1日から8月31日まで電気使用安全月間の事業として、毎年高齢者住宅の配線診断を行っています。今年度も中部電力飯山営業所、中部電気保安協会、行政、地区民生委員様にご協力いただき、中野地区は8月24日に豊田地区を27軒、山ノ内地区は8月29日に本郷地区を12件実施しました。



その結果、配線の老朽化と漏電ブレーカーがついていない家が何軒かありました。危険性をお客様に説明し納得をいただいて、その場で修理できる所は極力交換をしました。対象者からの意見は普段から、1人暮らしなので電気の事はよくわからないので点検して、いただいて安心しました。「大丈夫です」の声に「ありがとうございます」と感謝されました。火事や事故を起こさないよう電気を快適に安全に使

っていただきたい、不安や困ったことがあったら相談していただきたいと思います。

また、9月には店舗パトロール、10月は安全大会を毎年開催しています。会員の皆様と協力し事業計画を進めていきたいと思っています。

長水地区

10年目を迎えた 善光寺点検清掃

長水地区長 伊藤 善宣



現体制での最後となった電気使用安全月間行事、今年で10年目を迎えた『文化施設 国宝善光寺本堂および境内の電気設備の点検と清掃』点検清掃は8月19日役員18名、中部電力7名、保安協会5名 計30名で昨年、一昨年と雨の中で行われた事とは正反対に、好天候の中汗だくで約2時間作業を行った。

作業後、善光寺の若麻績宗亮宮繕部長から「木造の文化財で一番怖いのは火災だ。電気の専門家の目でしっかりと点検してもらおうと同時に、私たち自身も電気安全使用の意識を高める機会としたい。」と感謝の言葉をいただいた。



昨年、御開帳で報道関係者が10社程度取材に来たが、今年はリオ・オリンピック、天皇陛下の軽井沢訪問と重なった関係で、新聞社3社だけで地上波でのPRができなくて残念であった。反省会では、11月24日・25日に行われる第2回電気工事技能競技全国大会に長水地区の副地区長である(有)伊東電機商

会社員の小山さんが選手として出場していただけるという事で盛大に行われた。

協力会解散の年、H28年度を迎え、支部では地域編成、また長水地区では会員数の減少に伴い現在5つのブロックを2つの地区に編成をと考えております。今まで何十年間同じブロックで活動してきた思いを各ブロック解散に向けて、第3ブロックでは6月26日・27日に北



陸旅行、第4ブロックでは7月1日～3日に北海道旅行、第1・第5ブロックではこれから年末・年始に向けた行事を考えているところです。

お盆は明けてもまだまだ残暑が続いております。

健康と安全に十分留意し、本年度残りの活動に参加をよろしく申し上げます。

須高地区 公園を美しく



須高地区長 竹前 廣克

須高地区は、8月25日（木）に須坂市臥龍公園の街路灯の清掃と分電盤の絶縁測定・点検を行いました。須高地区は毎年臥龍公園で電気使用安全月間の事業として行っており、今回も臥龍公園管理事務所のご協力を頂き活動ができました。作業に当たっては中部電力長野営業所様のご協力、地区の担当委員会である教育・厚生委員会（木下委員長）の総勢15名で実施しました。

当日は、天候に恵まれ大変暑い中の作業となり、熱中症・蜂等の虫刺されに注意して行われました。広報車は須坂市。高山村・小布施町・若穂地区を電気使用安全月間のテープを流して回り啓発活動を実施しました。ポスターは会員・各市町村・消防署にPRと掲示を依頼しました。

臥龍公園での街路灯・分電盤の点検は良好でした。今話題になっている「ポケモン・ゴー」をやりたがる人が多いため、ゴミが増えて困るとのお話がありました。お互いに気をつけましょう。



飯山地区

高齢者宅の配線診断

飯山副地区長 小林 忠

当飯山地区では、去る8月26日に毎年恒例の一人暮らしのお年寄りのお宅の電気設備の点検と診断を行いました。毎年、地区役員への対応で行っているボランティア事業ですが、私も今年はじめて役員として参加しました。今年は飯山旧町内の80世帯を対象に、市職員と各地区民生委員さん、中電飯山営業所の配電、契約・サービス課の4名が2班に分かれて各戸を訪問、診断を実施しました。

当日は幸いなのかどうか絶好の好天の中、汗だくの作業で熱中症の心配もしながらの事業遂行となりました。毎年同時期に行っているわけで、地区長をはじめこれまで対応してこられた方々の大変さも実感したところです。

今回廻ったお宅は概ねさほどの老朽・不良

困っているお年寄りですか？

県電気工事業工業組合飯山地区(村石柱太郎地区長・10社)は、電気使用安全月間事業の一環として先月26日、飯山市飯山地区の一人暮らしのお年寄り世帯を対象に、電気の配線診断を実施した。

電気使用の安全啓発を行い、不良電気設備の改修を実施するとともに、社員の研修を行い一般用電気工作物の保安確保と、電気災害防止を図るのが主旨。今回、上町・上倉・松倉・栄町・田町の80世帯を対象に、民生児童委員、中部電力飯山営業所の協力を得て▽漏電のチェック▽洗濯機・電子レンジのアース点検▽電線の損傷確認▽危険閉閉器の無償交換▽漏電遮断器・住宅用火災警報器の取り付け推進などを実施した。

市内には一人暮らしのお年寄り世帯が約800戸あり、同日と話すお年寄りがいた。

配電盤を念入りにチェック

9月3日 北信濃新聞より

もなく、良好な設備状態でした。漏電ブレーカーや接地付コンセントの普及率もかなりのものだと思います。それぞれのお宅の設備の状態は昔に比べて上ってはいますが、まだまだ多少のタコ足コンセントや半刺さりのプラグがあったりと、特に電子レンジや冷蔵庫の裏で掃除の行き届かない所でのプラグのゆるみは、トラッキングの恐れも有りそうで注意が必要だと思います。こういった部分の啓発も進めていくべきかと感じました。

また、地震などの避難時にブレーカーを切ってお逃げ下さいと言われていたことを気にされている方がいました。分電盤の位置が高すぎて脚立や踏み台を使わないと届かないが、それが怖くて出来ない、とのことでした。「無理はしないで、まず安全に逃げることを考えて下さい。」と市の職員さんも説明していましたが、高齢化の進む社会での今後の分電盤の位置や入切の方法を考えることも必要なのかなと思うところです。

昨今、個人情報の問題で個別の訪問もなかなか難しいものとなっていますが、まだまだ「来てくれてありがとう。」の言葉をいただきながらのこの事業は続けていければいいものだと思います。ただ同行・担当頂く皆さんの労力と負担の大きさはもう少し軽くしたほうが良いと思います。今後の課題もふまえながらまた来年も行っていけたらと思います。

長野支部版 / スピーカーズ・コーナー



回想

須高地区 清水 卒^{すずむ} (有限会社若穂電気)

長い間、電気の仕事に従事してきました。学校を卒業して最初の就職が電気工事店であり、やってみるととても面白い仕事だと思いました。大きな仕事が完成して通電すると、広い部屋の照明が一齐に点灯し実に爽快で、完成の喜びがそこにあり充実感に包まれた思い出があります。

またお客様から「電気がつかない」との依頼で調査・修理をし、お金をいただいてする工事にもかかわらず喜んでいただけるので、良い事をしながら社会に貢献しているような気持ちになれました。

過ぎ去った日々は楽しい事や嬉しい事、また苦しい事や辛かった事、お客様の期待に添えられず申し訳ないと思った事など、様々な体験をしながら50年余りも続けられました。これは大勢の人達に支えていただいた結果で、感謝の念でいっぱいです。

幸いにも息子が後を継いでくれそうで良かったと思う一方、自分の今後は体力に合わせ無理をせず、世間への恩返しのつもりで仕事を続けていけたら幸福と思っています。



リオあれこれ



長水地区 日極量博（中部電工株式会社）

ブラジル第二の都市の名を、この夏何度、目にしただろう。リオデジャネイロ。ポルトガル語で「リオ」は「川」、「ジャネイロ」は「1月」の意で、「リオデジャネイロ」は「1月の川」となるらしい。1502年の1月にポルトガル人探検家の一行が発見したところから名付けられたとのこと。

リオデジャネイロ。カタカナ8文字は、1896年アテネ大会に始まり、31を数える近代夏季オリンピック開催都市名の中で最も長い。また、南半球での開催は1956年メルボルン、2000年シドニーの例があるが、8月、つまり開催国における「冬季」に開催された「夏季」オリンピックは今大会が初めてだという。（調べてみると、メルボルンでの大会は11月から12月にかけての「夏季」に行われたらしい）リオデジャネイロは熱帯気候のため、冬季でも平均気温が20度を超える。降水量も8月が1年の内で最も少なく、夏季オリンピック開催にはかえってぴったりの気候条件だったようだ。

さて、治安の悪さ、競技施設の準備状況等、何かと不安要素の多かった今大会だが、結果は日本にとって喜ばしいものとなった。メダル獲得数は金12個、銀8個、銅21個の計41個で過去最多。記憶に残るシーンは枚挙に暇がない。

長野県はこれまで夏季オリンピックの個人種目におけるメダリストを輩出していない、いわゆる「0メダル県」の一つだったが、今大会で競歩の荒井選手、バドミントンの奥原選手がそれぞれ銅メダルを獲得、また団体種目でもシンクロナイズドスイミングの箱山選手が銅メダルを獲得した。いずれも快挙であり、4年後の県勢のさらなる飛躍が期待される。

ここまでネットでWikipediaのページを行きつ戻りつ参照しながら、数字ばかりを並べてきた。どこかに間違いがあれば申し訳ないことだ。ところで、今大会の開催地が16世紀初頭、ポルトガル人によって発見されたことは先述し



たが、実は彼らはグアナバラ湾の「狭い湾口」を「大きな川」と勘違いし、その地に「1月の川」という名を付けてしまったものらしい。都市名からしてこのような壮大な勘違いを背負いこんでいるのだから、文中における些細な間違いはどうか大目に見てもらいたい。



飯山地区 高津 和忠（高津電工事株式会社）

還暦を境に、私ごとの量はかなり変わったことが二つ。

2年程前の初めての入院・手術を機に、苦もなく喫煙をやめることができたまでは良かったが、その後明らかに「太った」。60までの私にとって「太る」という言葉とは全く無縁で、むしろ切望までもしていたものが、一体どうしちゃったというのだ!? 「歳相応の貫禄が出てきましたね～」などと言われて気を良くしている場合ではない。決してメタボではないのだが、鏡を前に、妊婦のようにポッコリとなめらかな曲線を描いて突き出してきたお腹をさすりながら、呆然と立ち尽くす私がいる。みっともないからハヨ隠せてばさ！ おまけにズボンとかも作り直して、不経済この上ない（泣） どこかの「ナイトール」とかって効果あるんかや～？ これについては、まずは運動を心がけるしかないと思い、先日スポーツジムの見学を済ませた。

それともう一つ。本を読む量はかなり減ってしまった。かつての私の読書の時間と場所は就寝前の寝床と決まっていた、日課と言えるようなものでもあったが、最近は特に疲れてもいないのに、横になるとすぐに眠りについてしまうようになってしまった。

読みたい本がないのではない。それはいくらでもあって、今年の本屋大賞を受賞した「羊と鋼の森」の単行本も、芥川賞受賞作「コンビニ人間」を全文掲載した「文藝春秋」もちゃんと枕元には置いてある。皮肉にももう一冊。「結局、『すぐやる人』がすべてを手に入れる」というビジネス書までも鎮座している。「何故読まぬ？」 積み重ねられた本達に脅迫されているような感覚すら覚える毎日だった。

そんなある日、朝のラジオで「氷壁」を話題にした

番組を耳にした。私にとっても思い出深い小説なので、運転しながらつい熱心に聴いてしまい、自宅に戻ってから書棚を詮索して、色褪せた新潮文庫を見つけ出した。昭和47年発行の18刷。定価は260円とあるが、現在は税込み907円で売られているようだ。



「氷壁」は「天平の^{いらか}臺」や「敦煌^{とんこう}」などと並ぶ、井上靖の代表的な長編小説なので、お読みになった方も多く、およそのあらすじは承知されていると思う。当時まだ学生の私はこの小説を読んで、「茶毘に付す」という言葉を初めて知った。以来、様々な機会にこういった場面を目にした時……例えば、野坂昭如の短編小説「火垂るの墓」の中で、終戦直後、栄養失調で亡くなった4歳の妹の遺体を、14歳の兄が野原で一人、夜を徹して茶毘に付すといったような……必ず氷壁の中で、ザイルが切れて滑落死した山仲間を弔う場面が脳裏に浮かぶといった具合である。

そのようなわけでこの夏、44年ぶりにこの小説を読み返してみた。タイトルからして、単なる山岳小説とも思われがちだが、昭和30年代の東京の雑踏と対比した上高地や穂高の大自然が丁寧に描かれ、その間を行きつ戻りつ悩み苦しむ人間模様は、今この歳になって読み直したからこそ実感できることや共感を覚えることも少なからずあった。純粹とも思える山男たちが、人妻を巡ってイロイロと恋慕する恋愛小説でもあり、上高地～前穂高山頂までの登攀ガイドブックでもあり、切れるはずのないと言われたナイロンザイルが、密室空間とも思える岸壁で切れた事件をめぐる、ザイルの製造元と資金関係会社の責任問題といった社会派小説でもある。山行の為の給料の前借りや休日取得等で迷惑ばかりかける部下を、文句を言いつつ信頼して見守る太っ腹の上司。昭和の男達の凜とした姿も随所に感じられた。

このように、多感な青春時代に読んだ本も、歳を経てあらためて読み返してみると、また新たな発見や感動が生まれるものだとことを実感した。書棚に眠っている本達は、私にこういうことを期待して、待っていてくれるのかも知れない。秋の夜長。暫くは新たな書籍の購入を控えて、今ある本を手にとって、じっくりと読んでみようとするか。

8年目の家庭菜園

更埴地区 降旗 照子（降旗電気）

梅雨も明け朝から強い陽射しの日が続く、夏本番だ。今年は雨が少なく、この暑さは少々畑仕事をする体に堪える。しかし春先に植えたなす・きゅうり・トマト・オクラ・ピーマン・ブロッコリーなどが大きくなり、毎日食卓を賑わしてくれている。ところがたくさんなりすぎて食べるのが追い付かず、子供や兄弟、友達の所へ持って行って食べてもらっている。

見様見真似で始めた家庭菜園も今年で8年になる。わからない事は周りの先輩方に教えてもらい、本も買い研究もしてみた。しかしそれでも中にはうまく育たないものがある。その反対に土にぴったり合ったのか大豊作で、処分に困った野菜を知り合いのスタンドに持って行き、段ボール箱に入れて『ご自由にお持ち下さい』と書いて置かせてもらったりもした。言うまでもなく、あっと言う間になくなったそうだ。自然相手のものは野菜ひとつ取っても、難しいし奥が深いなとつくづく思う。

孫は小さい頃から畑に行くのが好きで、家に来ると野菜を取りに行く。虫を追いかけたり穴を掘ったりと無邪気に走り回っている。その姿を見ているだけでひと時の幸せを感じる。

周りには70代、80代の先輩方が、元気に畑を耕したり草取りをしたりしている。

「畑に来ていた方がおしゃべりもできるしな。みんな上手だねー。私らよりも上手だわ。みんな偉い偉い。」

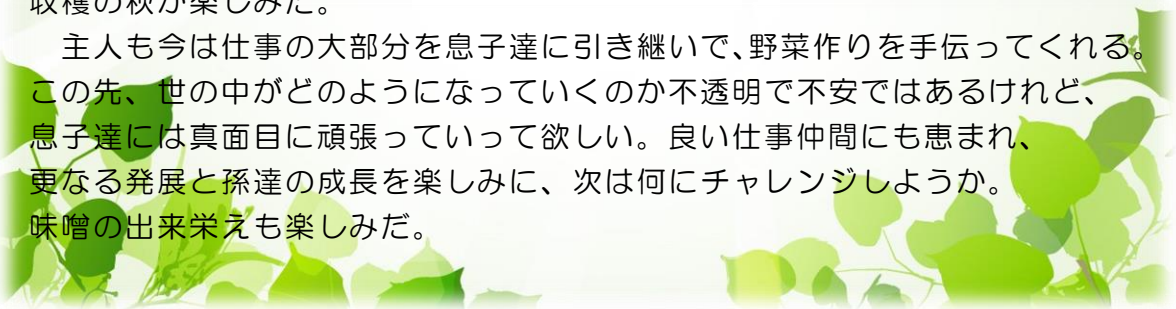
と、おだてられ元気をもらっている。長寿日本一の源はここにあるのかもしれない。こんなふうにゆったりと生き

られたらいいなと思う。痛かった膝もいつの間にか治ってしまった。売り物のような訳にはいかないが、家庭菜園は安全で新鮮が取り柄。菜園交流も楽しみながら、健康のためにも体が続く限り野菜作りを続けたいと思う。

そして今年は前からやってみたいと思っていた味噌を作ってみようと思う。以前から作っている義姉達に話をしたところ、二つ返事で「いいよ。だけど豆はもって来てね。」ということで、今までに買ったことのない量の豆を仕入れた。4月下旬義姉達の指導の下、義兄達も手伝い五家族分の味噌を一日がかりで仕込んだ。昔、母達が味噌作りをしていた時の匂いと光景が何とも懐かしく、おしゃべりにも花が咲いて楽しい一日だった。そこで来年の味噌のために大豆を作ろうと、主人の知り合いの紹介で100坪ばかりの草だらけの畑を借りることにした。リサイクルセンターで買った耕運機とビーパーで、何とか苦勞して植えられるまでにしてもらった。今、大きくなって青々と茂っている。

収穫の秋が楽しみだ。

主人も今は仕事の大部分を息子達に引き継いで、野菜作りを手伝ってくれる。この先、世の中がどのように変わっていくのか不透明で不安ではあるけれど、息子達には真面目に頑張っていて欲しい。良い仕事仲間にも恵まれ、更なる発展と孫達の成長を楽しみに、次は何にチャレンジしようか。味噌の出来栄も楽しみだ。





オタクの

夢

中野地区 西山 弘 (西山電化センター)

フリートークということで、自分が一番興味を持って居る事を書きたいと思います。

私が世の中で一番興味を持っているものは、「機動戦士ガンダム」です。

なんじゃそりゃ・・・？ アニメですよアニメ！(笑)

“お前 50 過ぎてるのにおかしんじゃねえか？”と思われる方も多いでしょう。

それは 37 年前、当時高校生だった私はガンダムに出会いました。私が子供の頃の TV といえば、ウルトラマン・仮面ライダー・マジンガー Z など人間を守る正義の味方が、侵略してくる宇宙人や悪人をやっつけるという物ばかりだったと記憶しています。しかし、機動戦士ガンダムは違ったのです。人間対人間、それぞれの正義の為の戦争というストーリーで絶対悪が居ないところが斬新で心引かれたところでした。

内容は、ごく普通な少年がひよんな事から戦争に巻き込まれていく中で、戦争の悲しさ、酷さ、嫌らしさ、殺されたから殺すなど負の連鎖を体験しながら成長していくストーリーです。作者は少年の成長、感情を通して戦争をしてはいけないというメッセージを発信しているのだと、勝手に解釈しています。

すみません！熱く語ってしまいました！（反省）

ぶっちゃけガンダムオタクなのです。（笑）でも 37 年経った今も、ガンダムの世界を描いた新作アニメは当然、小説やゲームなどさまざまなコンテンツが発表、発売され子供からいい大人まで（自分含む）楽しんでいるのです。すごいと思いませんか？

私の夢は子供と一緒にガンプラ（ガンダムのプラモデル）作ったり、一緒に見たアニメのことを熱く語ったりしたいと思っていましたが、残念ながら私の子は女の子で全くガンダムに興味を示してくれませんでした。。。(悲しい)
仕方が無いので今は一人でガンプラを作り、店に飾っています。嫁には邪魔扱いされていますが、全商品のプライスをガンプラが持って飾れるまで作り続けたいと思います。それが今の私の“らっちもない”夢です。

ちなみに今現在、完成品は 1 体だけです。（笑）



From 青年部

ソーラーシェアリング



電気組合青年部会長野支部
副支部長 恩田 誠 (G&E かんぱにい)

ソーラーシェアリングというものをご存知ですか？別名、営農型太陽光といひまして、耕作をしている農地の上部に太陽光発電所を併設して、今迄通りの農業の収入にプラスして、発電事業による収入を得るというものです。

先日、別の組合の会議で名古屋に出向いた際に、三重県の菰野町にある小掠緑化様の営農型太陽光システムを見学してきました。

この営農型太陽光ですが、よくそのあたりの更地に設置してある野立太陽光発電所と違い、3m~4mぐらい架台を高くして設置してあります。また、パネルも隙間なく並べるのではなく、少し間をあけて取付してあります。

これは、パネルの下で今迄通り耕作をするために必要なことで、高さがあげてあるのはトラクターなどの、農業機械を使用して農作業ができるように。パネルの隙間があけてあるのは、耕作に必要な日照を確保するため。ということです。

見学させていただいたシステムが設置してあるところは、いままで耕作には使用していませんでした。太陽光発電所の設置をする際に山土を 30cm 覆土しただけで、肥料系のものは一切入れてないそうですが、一般的な畑と何も変わらない景色がそこにはありました。このシステムの良いところは、耕作での収入を得ながら、発電事業による収入も得ることができるということかと思ひます。今、全国的に耕作放棄地が増加し、農業人口が減少をしていることが、非常に問題となっています。私は、このようなシステムが普及していけば、これらの問題を少しでも減らせられるのではないかと思ひています。

見学させていただいたシステムが設置してあるところは、いままで耕作には使用していませんでした。太陽光発電所の設置をする際に山土を 30cm 覆土しただけで、肥料系のものは一切入れてないそうですが、一般的な畑と何も変わらない景色がそこにはありました。このシステムの良いところは、耕作での収入を得ながら、発電事業による収入も得ることができるということかと思ひます。今、全国的に耕作放棄地が増加し、農業人口が減少をしていることが、非常に問題となっています。私は、このようなシステムが普及していけば、これらの問題を少しでも減らせられるのではないかと思ひています。





第2回 電気工事技能競技全国大会

平成26年に第1回全国大会が開催され、隔年開催の第2回大会は下記のとおり開催されます。今大会は長野支部から選手を募り、公募の結果、有限会社伊東電機商会さんより選出いただきました。

大会の目的は『電気工事技術者の資質ならびに技術水準の向上を通じ、電気保安の確保を担う電工事業界の発展に寄与する』ことにあります。本大会は自らの精神力を鍛え技術を研く場であり、次のステージに飛躍するための千載一遇のチャンスです。

業界の発展の一翼を担うための若い力をお借りし、組織の強化を図り更なる充実と発展を期待して止みません。選手の健闘を祈ります。

開催日	平成28年11月24日(学科競技) 25日(技能競技)
会場	両国国技館 (東京都墨田区横綱1-3-28)
主催	全日本電気工事業工業組合連合会
出場選手	小山 祐樹さん (30歳) 有限会社伊東電機商会



中部電力株式会社 4月1日付 人事異動 (関係分)

	所属・役職	氏名	前任地および新任地
転入	長野営業所 所長	山本 英夫	本店 名古屋受付センター 所長
転出	長野支店 営業部 部長	降旗 宏吉	長野営業所 所長

中部電力株式会社 7月1日付 人事異動 (関係分)

	所属・役職	氏名	前任地および新任地
転入	長野営業所 契約課長	佐藤 美恵	上田営業所 契約課長
	長野営業所 配電建設課 副長	上野 健司	佐久営業所 配電建設課 副長
	長野営業所 配電建設課 副長	岩下 勝	長野営業所 配電建設課 主任
	飯山営業所 契約サービス課長	伝田喜美男	本店 火力センター 上越火力発電所 総務課 副長
	飯山営業所 配電課長	越野 慈夫	佐久営業所 配電建設課長
	篠ノ井営業所 契約サービス課長	細田 豊成	飯田営業所 総務G 副長
転出	長野営業所 契約課長	大厩 朋幸	長野支店 用地部 用地課長
	長野営業所 配電建設課 副長	小林 文雄	佐久営業所 配電建設課長
	飯山営業所 契約サービス課長	内藤 広幸	長野営業所 サービス課長
	飯山営業所 配電課長	立岩 浩司	松本営業所 配電運営課長
	篠ノ井営業所 契約サービス課長	宮澤 征爾	上田営業所 契約課長

(順不同 敬称略)



9月13日 総務委員会 長野電気会館に於いて



編集後記

編集後記の原稿依頼が来たのが7月25日。直前の22日に配信されたばかりの『ポケンGo』が日本中を席捲しており、原稿の初は決まった！と思った。しかし、よく見たら通信発行は9月…今となっては、「たまごっちゲームより早く下火になったなあ」などとくだらない考察をしている。

それはそうと、無料で配信されたこのアプリ、なぜ無料で遊べるのか、を考えるのは非常に重要である。配信日から数日、どっぴりとハマった長男（高1）に調べさせた。回答は以下の通り。

課金以外に収益を上げる要素として、「ポケストップ」や「ジム」を実在の店舗などに置くことで、集客や広告宣伝に使ってもらう、つまりゲーム会社はそのお店からお金をもらう事ができるらしいよ。とのこと。おお！素晴らしいビジネスモデルではないか！と、親子で感心したものである。

が、実際にそれを目にする事は無いままゲームは去った（ような気がする）。ちなみに今では“位置情報を偽装して、徒歩・自転車・車などが選べて歩き回ったことになるアプリ”（たぶん違法）があるらしい。残念ながらもうワコン（終わったコンテンツ）なのかもしれない。

総務委員 久保田 雅史

編集

副支部長 高津 和忠
総務委員長 玉木 新二
総務副委員長 伊東 敬晃

総務委員 久保田雅史
渡部 進
酒井 重喜
(事務局 倉嶋)





美しく快適な
省エネ照明を求め続けて…

お客様にご満足いただける
より安心安全な環境づくりをお手伝いします

長野電材会

大沢電機株式会社
昭和電機産業株式会社
株式会社デンセン
株式会社ニッセー電機

(50音順)

